

第2回 スポーツ安全対策分科会 会議録	
日 時	平成31年3月5日(火) 午後7時から
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	委員：清水、小島、白川、矢合、松村、大塚、末村、三浦、石川 栄区役所(地域振興課)：早乙女、宍戸、山口 (欠席者：安本、磯川、片岡)
議 題	1 (報告) 平成30年度の分科会企画講習会について 2 (報告) セーフコミュニティ再認証取得について 3 分科会だよりの発行について 4 平成31年度の取組について 5 スポーツ活動時に発生した事故・けがに関するアンケートについて 6 平成31年度の分科会企画講習会について
議 事	<p>1 (報告) 平成30年度の分科会企画講習会について 事務局から、平成30年9月9日(日)に実施したスポーツ安全対策分科会企画講習会「スポーツ活動中の足首捻挫の原因と予防方法について」の開催報告があった。参加者のアンケート結果の中で、「参考になった」「実技の講習が良かった」という意見があった一方で、「後ろの方が見にくかった」「人が多くて動きにくかった」などの意見もあった。</p> <p>2 (報告) セーフコミュニティ再認証取得について 事務局から、セーフコミュニティ再認証取得について報告があった。6月15日から17日に行われた現地審査では、16日に清水座長がスポーツ安全対策分科会の発表を行った。審査員からウォーキングについて良い評価を受け、特に、根拠に基づく取組であることについて全体講評の中でも触れられた。また、10月6日(土)には再認証取得の式典が行われ、正式にセーフコミュニティの再認証を受けた。</p> <p>3 分科会だよりの発行について 事務局から、「スポーツ安全対策分科会だより第7号」の案が示され、了承された。また、配布先については、昨年と同様、各団体と各施設等に、計2,600部を配布、配架することになった。</p> <p>4 平成31年度の取組について 平成31年度の取組として、分科会委員から意見を出し合い、今後事務局でまとめることになった。 【分科会委員からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体に協力をしてもらい、まとまった人数に対して取組を5年間継続して、データをとれると良い。 ・自身が肉離れをした経験から、講習会等で、特定のけがについて、専門家の知識や予防方法が広く区民に伝わるような取組をしていけると良い。 ・スポーツごとに準備運動の方法が違うと思われるので、一つの方法を勧めるのは難しいが、準備運動の推進は引き続き取り組んでいく方が良い。また、ウォーキング中の姿勢が悪い人が多いので、繰り返し講習会で周知できると良い。 ・昨年度に行ったウォーキング講習会では、正しいフォームに衝撃を受

けた。1回だけでなく、繰り返し同じ講習会を受けたい。大人だけでなく、こどものときから正しいフォームで歩くことを身に付けさせることも良いと思う。

- ・こどもたちの体力や筋力向上を勧めていくのはどうか。スポーツごとに準備運動の方法も違うため、基礎力を向上させた方が、スポーツ全般のけが予防につながるのではないかと思う。
- ・自分は道路清掃を呼びかけていて、全身の運動となるとともに、町も綺麗になり、スリップ事故の予防にもつながるので、ウォーキングよりも、普段の活動の中でけが予防ができると思う。また、公園の使い方もけが予防には大切で、誰が指導していくかということも考えられると良い。
- ・多かったけがのアンケート結果について、年代別で見ると結果が違うように思う。また、パラスポーツにも目を向けるなど、分科会として、どのような年代やスポーツの種類を対象にするのか考えたい。

5 スポーツ活動中に発生した事故・けがに関するアンケートについて

平成31年度の1年間に発生した事故やけがについてアンケートを取り、データを積み重ねていくことになった。アンケートは、前回平成29年度に行ったものと同じ設問で、平成31年度の分科会構成団体のスポーツ活動中に起きたけがが対象となる。

6 平成31年度の分科会企画講習会について

事務局から、区体協が主催するスポーツフェスティバルや、市体協が主催するスポーツレクリエーションフェスティバルの際に、企画講習会を実施することになった。詳細については来年度検討することになった。